

守門岳（大岳分岐～大岳）山行記録



川内・下田の山々



袴岳方面



大岳の雪庇



キビタキ小屋

目的地	守門岳	期 日	平成23年4月7日（木）
山行人	笠原正雄・高橋誠一（以後T）	天 候	薄曇り～晴れ

地名	時刻	記 事
栃尾道の駅	7:20	加茂からのTと待ち合わせ、一台に同乗して向かう。
二分最終除雪点	8:05 発	数台先着。駐車スペース一台分が空いていた。後続車が来た。それは路側駐車となる。例年より雪が多い。2m程度か、壺足で雪に上がる。林道途中から猿倉橋方向の踏み跡を進むが、今日のものではない。薄曇り。
猿倉橋	8:35～8:45	橋の上の雪はおよそ2.5mありそうだ。夏道登山口で更に先に別のトレースが伸びていたが、ここから上がるトレースに従い登りに掛かる。いつもながらの急登だ。
尾根に上がる	9:20	ここでカンジキを履く。大きなアンパンを半分ずつ食べる。
進路迷い	9:42～9:53	踏み跡を離れて右に進む。沢方向に下って行き、ちょっと違う。それに気付くに2往復してしまった。後になって思い出したが、以前にも同じ迷いをしている。踏み跡に戻ってやや急登を上がる。
谷地平	10:32	俺に夏道の記憶はないが、高橋さんは夏道が沢からここに上がっていると云う。
H892付近	10:38	やせ尾根が段差になって、少し雪が割れている所が数箇所ある。左斜面の雪に足場を確保しながら進む。雪は柔らかく滑り落ちる心配は無いがいやらしい。
滝見場	11:20～11:30	台地は全て雪がついている。オカバミ滝が雪から出ている。一口羊かんを食べる。
りんご休み	12:20～12:30	登路途中で腰をおろし、三山は霞むが魚沼方面の山々を眺めながらりんごを頂く。
クレバス	12:40	大きく割れている。場所を選んで渡る。後ろで声がした。Tが半身を落とした。
大岳分岐	12:50～13:55	袴岳の頂を踏みに行くには時間が窮屈。ここまでとし、雪穴を掘る。70～80cm掘り下げると凍っていてスコップでは歯が立たない。Tのピッケルで削る。風を受けると寒く感じるが、穴に入れば寒くはない。350缶1本でランチタイム。
アミハリ鞍部	14:05	標高差約100m降りて130mの登り返し。所々雪が割れているブッシュの急登。
大岳山頂	14:35～14:45	いつもながらの絶景だ(写真上)。遠くに飯豊も分かる。雪穴が一穴掘られていた。
キビタキ小屋	15:15	快晴となった。手前でランチ時に着たヤッケを脱ぐ。屋根の一部が出ているのみ。
保久礼小屋上	15:30	更に雪が腐って来て、歩きにくい。先行下山者の壺足が深くぬかっている。
大平橋	16:30	振り返れば歩いた山が美しく映える。
駐車地点	16:40	歩行終了。最後の一台である。

飯豊で時々一緒に歩いている福島のシミケンさん達が守門の雪庇を見に来たいと言っている。しかし、3.11 東日本大震災のため、その日程は定められないことと思われる。しかし、いつでも対応できるようにと下見を兼ねて高橋さんと一緒に歩いてみた。大岳は問題ないが、袴岳をコースに入れるとなると細尾根の状態と時間を確かめておきたかった。今年は震災でどうなるかは未定だが、もし、不都合だったとしても来年は是非お出でいただきたいと思う。